

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護の基本 I Fundamentals of Care I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択 (介護福祉士養成課程必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
和田晴美	福祉棟2F	月・火・水 (授業時間以外)	授業中に指示します	
授業の概要				
「介護の基本I」は、介護を必要とする人に対しての生活支援をする専門職として、基本となる考え方を学ぶ。さらに、わが国のさまざまな介護問題を通して、介護の専門職としての社会的役割と職務について理解を深める。				
授業の到達目標				
①介護問題の背景を理解し、介護福祉士を取り巻く社会状況を認識できるようにする。 ②介護を担う専門職として、介護福祉士に求められる社会的役割を理解できるようにする。 ③介護福祉士誕生の背景と、介護福祉士の定義および職務を理解できるようにする。				
授業の方法				
講義を主とするがグループでの課題学習も取り入れ、学生が自ら調べ考え発表する機会も設けたい。また、入学前課題の「介護に関する新聞記事」を題材にまとめとする授業を行う。				
学習の成果				
①介護問題の背景を理解し、介護福祉士を取り巻く社会状況を認識することができる。 ②介護を担う専門職として、介護福祉士に求められる社会的役割を説明することができる。 ③介護福祉士誕生の背景を説明することができる。 ④介護福祉士の定義と職務を説明することができる。 ⑤利用者の人権に関する様々な問題について理解し、対策や方向性を考えることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (授業のねらいと進め方、成績評価についての説明)		介護の歴史	
第2回目	介護を取り巻く状況の理解 【グループでの課題調査】			
第3回目	介護を取り巻く状況の理解 【グループでの課題調査、発表の準備】			
第4回目	介護を取り巻く状況の理解 【発表】 ①平均寿命、少子高齢化 ②家族形態の変化			
第5回目	介護を取り巻く状況の理解 【発表およびまとめ】 ③女性の社会進出と介護問題 【資料の提出】			
第6回目	介護とは (介護の目的と原則 求められる介護福祉士像)			

第7回目	介護福祉士の役割と機能を支える仕組み ①社会福祉士法及び介護福祉士法、定義、義務		
第8回目	介護福祉士の役割と機能を支える仕組み ②名称独占と業務独占 養成制度、登録状況		
第9回目	介護福祉士の役割と機能を支える仕組み ③専門職能団体の活動と役割、機能		
第10回目	職業倫理 ①介護従事者の倫理 ②介護実践の場で求められる倫理		
第11回目	利用者の人権と介護 ①身体拘束禁止		
第12回目	利用者の人権と介護 ②身体拘束を考える 【身体拘束のグループ演習】【レポート課題】		
第13回目	利用者の人権と介護 ②高齢者虐待、児童虐待 【グループ演習の発表とまとめ】		
第14回目	プライバシーの保護；個人情報保護 定期試験		
第15回目	授業のまとめ 試験解説		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		20%	以下の視点で評価する。授業の準備が整い、講義は集中して必要なことをノートに取り、疑問点は質問して解決できること。ディスカッションでは他者の意見を傾聴し、自ら積極的に発言して学びを深められること。
レポート		10%	「身体拘束」の演習・グループディスカッションを通しての感想・学びについてレポートを作成すること。身体拘束がなぜ禁止されているのか、なぜ無ならないのかを具体的に深く洞察することが求められる。
調査報告書		10%	「介護を取り巻く状況」について文献調査し、レポートにまとめる。評価基準Sは、課題を十分理解し、必要な文献を調査精読していること。他の人にも理解しやすい正確な資料を作成し、期限厳守で提出すること。
小テスト			
中間・学期末試験		50%	穴埋め(語彙群あり)、記述、文章を読み、正誤を判断する問題等で知識の確認をする。
発表内容(態度含む)		10%	分担された項目について調べた内容を発表する。評価基準Sは、課題を十分に理解したうえで、分かりやすく工夫した発表であり、他者を惹きつけるようなものであること。質問に対して的確に答えられること。
その他			
教科書と参考図書			
①介護福祉士養成講座第3巻「介護の基本I」と第4巻「介護の基本II」中央法規出版 ②福祉小六法 ③介護福祉用語辞典			
履修上の心得・ルール			
講義・グループ学習ともに積極的に参加することを望む。教室での飲食、机上への飲み物の放置も禁ずる。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。			